

日本YWCAの使命(ミッション)
イエス・キリストに学び、共に生きる世界を実現する
世界のひと々と共に人権・平和・環境の問題に取り組む

第29総会期主題
平和を実現する人々には幸いであるーマタイによる福音書5章9節

- 日本YWCAビジョン2015
(1) 非核・非暴力による平和を構築する
・平和憲法をまもり、世界に広める
・市民レベルで東北アジアの信頼関係を築く
・女性と子どもの権利をまもる
・パレスチナYWCAの活動を支援する
(2) 若い女性のリーダーシップを養成する

発行所 日本キリスト教女子青年会
〒102-0074
東京都千代田区九段南4-8-8
Tel. 03-3264-0661
E-mail: office-japan@ywca.or.jp
編集発行人 石井摩耶子
振替 00170-7-23723 (毎月1日発行)
定価1部 150円
年間購読料2,200円(送料込)
www.ywca.or.jp

YWCA 5

MAY 2008

未来の世代へ伝えたい



右から2人目、筆者。コスタリカの伝統的なカレータ(牛車)に乗って。

新潟YWCAは、9条を変えようとする大きなうねりに対抗
平和への近道だ。

「戦争のできる国」にしよつと
する政府や戦争を拒否することで
利益を受ける人々に対抗するため

9条世界会議
5月4日〜5日
於・幕張メッセ
http://whynot9.jp

「希望は戦争」という刺激的な言説につられて
赤木智弘さんの論文「丸山眞男」をひっぱりだきた
31歳フリーター。希望は、戦争。(論座)2
007年1月号) を読んでみた。不安定な雇用状
況の下で低賃金・長時間労働を強いられている
「失われた世代」の若者の多くが、絶望と閉塞感
から「平和なままの今の社会では、いつまでも貧
困から抜け出すことはできない。状況を打破し、
流動性を生む一つの選択肢が戦争」だと考えてい
るという。戦争は、むしろ現状をひっくり返す
チャンスであると捉えられているらしい。
しかし、イラク戦争のような経済目的の戦争が、
貧困問題の解決策となるとは思えない。マイケ
ル・ムーア監督の映画「華氏911」に描かれている
ように、危険な最前線に送られ、心身ともに傷を
負い、命を落とすのは、大概が貧困層の若者だ。
一方で、彼女たちを戦場に送り出す為政者と
一部の大企業は、遠い国外の戦争から莫大な利益
を得ている。戦争によって持てる者ますます栄え
り持たざる者は、唯一の財産である生命すら奪われ
ているのだ。
思うに、フリーターの若者が「窮状から脱し、
社会的な地位を得て、家族を養う」ことを人間の
尊厳と考えるならば、そのような普通の生活の機
会さえ破壊し、人間が互いに殺し合う狂気へと駆
り立てる戦争こそ、人間の尊厳を最も踏みこむ
行為である。希望すべきは戦争ではなく、社会的
公正が実現し、誰もが安心して暮らせる平和な世
の中だ。いたずらに破壊や暴力を望むよりも、同
じ境遇の若者と団結・連帯して格差を正せよ、
と声を上げることが問題解決の第一歩ではないか。
貧困・不平等など、真に取り組むべき課題から
国民の目をそらすための安易な戦争をさせないよ
う、国家権力にしぼりかけるのが憲法9条であ
る。自分たちを不幸にする平和よりも戦争を、と
いう若者に、9条の大切さをどのように訴えたら
良いのか。答えを模索中である。

(札幌YWCA会報)

9条を世界の礎に!



私が進めるものは何もない。
3人の子どもたちに聖書をポン
と渡して「伝えたいものは、こ
の中に!」と言つてもいいのだ。
しかし、憲法9条が変えられよ
うとしている今、それだけでは
いけないと思い始めた。9条は
1項2項共に変えてはいけない。
憲法前文と9条は何度読んでも
胸が熱くなる。なぜなら、まだ
実現に至らない「世界の平和」
という崇高な人類の希望が表わ
されているからだ。そしてアジ
アや世界の民衆の犠牲の上につ
くられ、今の私たちに託された
ものだからだ。9条を変えよう
という時期に居合わせた大人の
責任として出来ることを尽くし
たい。託された思いを簡単に手
放しては多くの犠牲者や後世の
人々に申し訳ない。未来の世代
に9条を伝えたいと願う。核の
傘や武器競争のバランスで平和
が保たれるとは幻想ではないか。
9条を「世界の礎」にした方が
平和への近道だ。

「日本の市民は憲法9条を
飾って大切ではなく活用する
ことが大切だ」とロベルトさん
は力を込めて話しかす。
さて、「9条を生かす(活用
する)」とは、いったいどうい
うことか? ①9条を変えて
「戦争のできる国」にしよつと
する政府や戦争を拒否することで
利益を受ける人々に対抗するため

「希望は戦争」という刺激的な言説につられて
赤木智弘さんの論文「丸山眞男」をひっぱりだきた
31歳フリーター。希望は、戦争。(論座)2
007年1月号) を読んでみた。不安定な雇用状
況の下で低賃金・長時間労働を強いられている
「失われた世代」の若者の多くが、絶望と閉塞感
から「平和なままの今の社会では、いつまでも貧
困から抜け出すことはできない。状況を打破し、
流動性を生む一つの選択肢が戦争」だと考えてい
るという。戦争は、むしろ現状をひっくり返す
チャンスであると捉えられているらしい。
しかし、イラク戦争のような経済目的の戦争が、
貧困問題の解決策となるとは思えない。マイケ
ル・ムーア監督の映画「華氏911」に描かれている
ように、危険な最前線に送られ、心身ともに傷を
負い、命を落とすのは、大概が貧困層の若者だ。
一方で、彼女たちを戦場に送り出す為政者と
一部の大企業は、遠い国外の戦争から莫大な利益
を得ている。戦争によって持てる者ますます栄え
り持たざる者は、唯一の財産である生命すら奪われ
ているのだ。
思うに、フリーターの若者が「窮状から脱し、
社会的な地位を得て、家族を養う」ことを人間の
尊厳と考えるならば、そのような普通の生活の機
会さえ破壊し、人間が互いに殺し合う狂気へと駆
り立てる戦争こそ、人間の尊厳を最も踏みこむ
行為である。希望すべきは戦争ではなく、社会的
公正が実現し、誰もが安心して暮らせる平和な世
の中だ。いたずらに破壊や暴力を望むよりも、同
じ境遇の若者と団結・連帯して格差を正せよ、
と声を上げることが問題解決の第一歩ではないか。
貧困・不平等など、真に取り組むべき課題から
国民の目をそらすための安易な戦争をさせないよ
う、国家権力にしぼりかけるのが憲法9条であ
る。自分たちを不幸にする平和よりも戦争を、と
いう若者に、9条の大切さをどのように訴えたら
良いのか。答えを模索中である。

吉田亜希



仙台 YWCA

創立60周年
5月22日・23日に記念行事

仙台YWCAは2008年5月23日に創立60周年を迎えます。神の深い恵みに護られ、その創立に尽力された諸姉、活動を共に支えてきた多くの会員、私たちの働きに賛同して下さった多くの方々：心から感謝申し上げます。
昨年07年度より「60周年記念事業」を計画し進めてまいりました。その内容としては、
・築後25年を経た会館の耐震検査および内外装の補修・改修工事
・幼児から高齢者まで生涯教育の場を提供するべく新しい教育事業の開発
・若い女性の人材育成
の、3点を中心に事業を遂行してまいります。会館の改修は既に昨年4月に終了し、創立草創期からメインとしていた幼児教育の場として、活用しております。その幼児教育もニーズに応えたクラス設計で拡大しつつあります。また、女性の人材育成のために昨年の世界YWCA総会に仙台からオブザーバーを派遣することが出来ました。

に22日に記念コンサート、23日には改装された会館1階ホールにおいて記念礼拝および祝会を計画。また、「60周年記念誌」の発行を予定しております。この60周年に向けて地域YWCAの皆様にも募金をお願いしてまいりましたが、3月末日現在55万5,000円のご協力をいただきました。紙面を借りてご報告すると共に心から御礼申し上げます。皆様のお気持ちが生かされるように、会員一同、気持ちを新たに61年目を迎えたいと思っております。

仙台YWCA 戸枝 慶

「5大陸20人が語り尽くす憲法9条」
著者：グローバル9条キャンペーン編
発行：かもがわ出版
定価：1,995円

「憲法9条は人類と地球生態系の存在にとってきわめて重要な内容をもっており、世界平和のみならず、地球そのものの生き残りに向けた展望を示しているのです。我々がこれ以上争いを続けば地球自体が破壊することを、現実と紛争に苦しむアフリカの医師が9条に託して語っている言葉です。文字通り国境を越えた20人の地球市民代表が、9条への熱い思いを込めた本です。その集大成が5月に幕張で開催される「9条世界会議」です。平和を求め声を結集させましょう。(荒木紀子)

「5大陸20人が語り尽くす憲法9条」
著者：グローバル9条キャンペーン編
発行：かもがわ出版
定価：1,995円

「憲法9条は人類と地球生態系の存在にとってきわめて重要な内容をもっており、世界平和のみならず、地球そのものの生き残りに向けた展望を示しているのです。我々がこれ以上争いを続けば地球自体が破壊することを、現実と紛争に苦しむアフリカの医師が9条に託して語っている言葉です。文字通り国境を越えた20人の地球市民代表が、9条への熱い思いを込めた本です。その集大成が5月に幕張で開催される「9条世界会議」です。平和を求め声を結集させましょう。(荒木紀子)

「憲法9条は人類と地球生態系の存在にとってきわめて重要な内容をもっており、世界平和のみならず、地球そのものの生き残りに向けた展望を示しているのです。我々がこれ以上争いを続けば地球自体が破壊することを、現実と紛争に苦しむアフリカの医師が9条に託して語っている言葉です。文字通り国境を越えた20人の地球市民代表が、9条への熱い思いを込めた本です。その集大成が5月に幕張で開催される「9条世界会議」です。平和を求め声を結集させましょう。(荒木紀子)

「憲法9条は人類と地球生態系の存在にとってきわめて重要な内容をもっており、世界平和のみならず、地球そのものの生き残りに向けた展望を示しているのです。我々がこれ以上争いを続けば地球自体が破壊することを、現実と紛争に苦しむアフリカの医師が9条に託して語っている言葉です。文字通り国境を越えた20人の地球市民代表が、9条への熱い思いを込めた本です。その集大成が5月に幕張で開催される「9条世界会議」です。平和を求め声を結集させましょう。(荒木紀子)

「憲法9条は人類と地球生態系の存在にとってきわめて重要な内容をもっており、世界平和のみならず、地球そのものの生き残りに向けた展望を示しているのです。我々がこれ以上争いを続けば地球自体が破壊することを、現実と紛争に苦しむアフリカの医師が9条に託して語っている言葉です。文字通り国境を越えた20人の地球市民代表が、9条への熱い思いを込めた本です。その集大成が5月に幕張で開催される「9条世界会議」です。平和を求め声を結集させましょう。(荒木紀子)

AROUND THE GLOBE 今、地球上で ケニア大統領選挙後の暴動に対するYWCAの行動

昨年12月27日のケニア大統領選の結果公表を受けて、ケニア各地で暴動が勃発し、家々が焼かれ、多くの人々が殺され、商店街では略奪がありました。2008年2月29日、ムワイ・キバキ ケニア大統領とラリラ・オディンガ野党代表は、希望と暴力反対を掲げた連立政権樹立に合意し、2カ月におよぶ危機の収束をはかりましたが、この間1500人を越える犠牲者と、25万人の難民・避難民の多くは、女性や少女、そして子どもたちです。

YWCAの行動
世界YWCAとケニアYWCAは他団体と連携をとり、危機に対応してきました。ケニアYWCAは、女性と子どもたちへの支援、特に被害を受けやすい高齢者・妊婦・幼子を抱えた母親たちに安全な場所としてYWCAの建物を開放しました。

世界YWCAとケニアYWCAは、次の3つの分野に取り組んでいます。

- 1. 人道的対応：避難女性のニーズに応える
* 国内避難民キャンプ・一時滞在用キャンプ等での避難女性の支援
* 避難女性と子どもへの支援 (衣食住と心身のケアの提供・経営スキルトレーニング実施)
* HIVポジティブの避難女性の支援 (カウンセリング実施と抗レトロウィルス治療の紹介)

- 2. 調停プロセスへの女性の参加を確実にする
* 国連決議：国連安全保障理事会決議1325および「African Union Solemn Declaration on Gender Equality (男女共同参画におけるアフリカ連合宣言)」に則った能力開発の実施に尽力
* 政治・社会・宗教界へ女性の声を届ける活動
* コフィ・アナン調停チームへ宛てた「ケニア女性の宣言」作成への参加
* ムワジュマ・アボック ケニアYWCA総幹事の宗教者間調停チームへの参加
* UNIFEMなど、男女共同参画に取り組むNGOとのネットワークング



平和交渉への女性の完全参加を訴え、オディンガ野党代表と会談するグンボンスパンダ世界YWCA総幹事

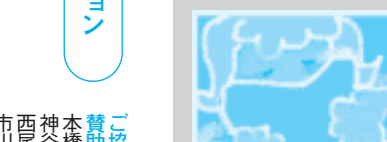
- 3. 多様性の尊重を広めることで、地域の平和を促進する
世界教会協議会(WCC) 訪問団と共に、和平交渉への、信仰を持つ女性の参加を訴える会議を開催しました。

その他、「International Women's Tribune」など国際的な媒体への声明文掲載、国連女性の地位委員会(CSW)参加者が声明文を会議へ持参して、国際社会に平和の促進をアピールしてきました。またこの間、個人と団体による9万2千米ドル(目標額10万米ドル)の募金総額を達成しました。今後も、和平交渉への女性の参加・女性のニーズへの対応・妊産婦の支援・HIVポジティブの女性の支援を、他団体と協働しながら引き続き行っていきます。

* 日本YWCAに寄せられた募金は276,239円(4月17日現在)でした。ご協力に感謝します。

ワークショップ・マニュアルご活用下さい!

「次はあなたがファシリテーター すぐに使える「平和ワークショップの素」お見せします!」と題したワークショップ大会(2月2日~3日)には、全国各地より70名を越える方々に参加いただきました。ワークショップ大会でご紹介したYWCAの13のワークショップを、皆さんの活動の場で、皆さんがファシリテーターとなって展開していただけるように「ワークショップ・マニュアル」を発行しました。暴力の事実を知ると共に、悲しむものと共に悲しむ感性を養い、「何かしなければ!」と思ったときに伝え、変革するチカラが必要なことを、YWCAは活動の中で経験してきました。今回、そのようなチカラをつけるためのワークショップを紹介いたします。ぜひご活用ください。
(札幌YWCA会報)



「協力ありがとうございます」
本橋貴子 清水佐和子
本橋貴子 北原恵美
神谷優子 金剛静恵
西尾 探 藤野尚子 杉村みどり
市川真実恵 大田八千代
平和教育資金
金剛静恵 藤野尚子 横山由美子
クリスマス献金
女子聖学院中等高等専修学校
オリブの木基金
町田裕子 梅原愛美
本橋貴子 樋谷美由紀
日浦華子 日高好男
渡辺 肇 多田成子 永井千鶴
金剛静恵 阿佐ヶ谷教会平和の会
2008年5月10日
国際協力基金/女性暴動被害救済
国際協力基金/パレスチナYWCA
支援募金 浦和YWCA
柴沼喜久子 浦和YWCA
東洋英和女学院中部宗教委員会
広島YWCA 創路YWCA
神戸YWCA 横浜YWCA
京都YWCA 東京YWCA
国際協力基金
横浜英和小学校 創路YWCA
一般寄付 青木恵子
一部寄付 倉部真理 石井摩耶子
唐崎旬代 江戸美穂子



「愛は…すべてを信じすべてを望みすべてに耐える。」
(コリント人への第一の手紙13章4節)

「愛って何だろう？」
私が担任をしている日本語補習校の新3年生の一番はじめのクラスで、こんな質問をしました。ちまたでは「愛」という言葉は欲に代わるものとして使われたりもします。「愛って何？」と聞くと、真っ先に金髪の女の子が「トラスト（信頼）！」と言いました。はっとさせられました。簡単に裏切ったり傷つけあったりする世の中で、一人の人を信じる力、最後まで信じ続ける親の心、そんな「信じる心」が暗い世の中を照らす光へと人々の心を変えていくのではないのでしょうか。

弱っている花のつばみにも、「きっと大きく花咲くよ」と信じて水をやっている、やがて美しい花が咲いていくように。
彩ノエル（ロサンゼルス在住クリスチャンアーティスト）

中高YWCA紹介

ルーテル学院中学・高等学校

7年前の共学化の折、「YWCA・YMCA」と呼称が変わりました。とは言え、日本YWCA・熊本YWCAとの関係の中にある学校YWCAであることには変わりありません。

中学部では、一人ひとりが校訓「感恩奉仕」の精神で活動を行うという考え方で、ルーテル教会系社会福祉施設の入所者の方々へ手作りのクリスマスプレゼントを贈ることを恒例としています。

高校生の「活会員」はわずか2名ですが、水曜日の例会では聖書を英語で読んでいます。昨年は、ホッキョクグマの直面する環境問題について英語のジャーナルを読み、考えを述べ合い、小論文を書くなど、勉強の要素も入れて活動しました。

長年続けていることとして、「あしなが学生募金」への参加協力があります。また、熊本では15年続いているユニセフ「アフリカの子どもの日」の活動に協力し、アフリカからの留学生との交流や講演会等を通して国際理解の活動をしています。昨年度の学院祭では、アフリカの「子ども兵士」などのパネル展を行い、ユニセフカードを販売しました。

地域YWCAとの連携ということでは、熊本YWCA主催のクリスマス礼拝にルーテルYの生徒が参加し、夕食のテーブルを共に囲み、交わりの時をもちました。また昨年、日本YWCAが募集した「9条キャッチコピー」には、高校1年生約70人が応募し、そのうち2人のキャッチコピーが採用され、9条カードを飾りました。現在、遺憾ながら細々とした活動になっていますので、ルーテル学院YWCAのためにお祈りをお願いいたします。

ルーテル学院中高YWCA顧問 栗原希代子

所在地：〒860-8520 熊本市黒髪3-12-16
TEL：096-343-3246

「南京を考える旅」その後 —春休みの体験—



写真中央筆者、右隣はラーベ記念館館長。

私は、大学のサービスマン・ライニングという授業を利用し、3月の初めから約1カ月の間、南京で社会サービスマン活動を行なった。南京でのこのプログラムは、愛徳基金会というキリスト教系盤のNGOが受け入れ団体となり、学生が中国でのさまざまな問題に関するサービスマンを行なうというものである。

私がこのプログラムに参加したきっかけは、昨年12月に日本YWCA・中国YWCA共催の「南京を考える旅」に参加したことである。この旅では、中国・日本各地の参加者と共に南京大虐殺記念館を訪問し、講師の講演や生存者の証言を聞き、ディスカッションで意見や経験を交わすことができ、日本人・中国人が共に友人としての関係を築き、民間レベルでの関係を築いていくことの重要性を強く気づかされたこととなった。

そんな中、自分の大学で、南京でサービスマン活動をするという機会があることを知り、これは私が旅で学んだことを実現できるいい機会であると思い、参加することにした。このプログラムは、障がい者通所施設でのサービスマン活動や、ジョン・ラーベ記念館という南京大虐殺とは関係がとも深い記念館での、展示案内のパンフレットの日本語への翻訳サービスマン活動などであった。また、南京YWCA・香港YWCAの活動である、香港の中高生たちとの平和学習についての交流プログラムに参加する機会も得た。休日などには南京の学生たちと交流を深めること

もできた。これらの南京での経験を通じ、私と日本人からのもう一人の参加者は、日中間を中心とした世界の平和を実現するために、もっと何かしたいと考え、「フロンチャーマット・プロジェクト」を始めた。このプロジェクトは、障がい児の子どもたちに絵を書いてもらい、それに私たちが南京で出会った人々から集めた平和についてのメッセージを添えてランチャーマットにし、障がい児施設に贈るといったものである。また、このマットを基にしたポストカードを作り、それを平和を広めていくための活動の一環として多くの人に配ってみたいと考えている。
国際基督教大学2年 樋口さやか

YWCAオリジナル9条カードを届けよう!

新デザインができました！
季節のおたよりやちょっとしたメッセージカードとして使って、9条を国内外に広めていきましょう。
定 価：各1枚50円＋送料（一度に合計300枚以上
ご注文の場合は1枚あたり46円＋送料）
注文先：日本YWCAビジョン2015委員会
FAX：03-3264-0663
E-mail：office-japan@ywca.or.jp

「世界の記念日」冊子 イラストレーター・デザイナー募集
日本YWCA国際コミュニケーション・チームでは、世界YWCAや国連が呼びかけている課題と、世界で祝われる記念日を関連づけた小冊子を発行しています。「国際女性的日」（3月）・「世界YWCA日」（4月）に続き、今年度は「非暴力週間」（10月）・「世界エイズデー」（12月）に向けた冊子作りを企画しています。冊子はデータ化して、広く無料配信いたします。ご希望の方はご連絡ください。

ただいま、この冊子と一緒に作成してくださるイラストレーター、冊子デザイナーを募集しています。絵が得意、ものづくりが好き、国際関係に興味がある方、ぜひご応募・ご紹介ください。一緒に世界の情報を発信していきましょう！
個人でも、グループでも、ご応募お待ちしております！
お問い合わせ先：日本YWCA国際（根岸）
Tel：03-3264-0661 Eメール：office-japan@ywca.or.jp

My Story Her Story



私とYWCAの出会いは5年前。当時仕事で壁にぶつかっていた私に、Yのメンバーである友人が声をかけてくれた。障がいを持つ子どもと家族へのサポート活動から始まって、平和活動・人権問題・活動資金調達などの分野にまで関わるようになった。

昨夏にはケニアで行われた世界総会・世界女性会議に出席したが、これは私にとって大きな経験であった。自分たちの活動が世界に繋がっていること、世界に評価されるのだという緊張感を肌で感じ、世界が広がった。

と同時に明らかに以前に比べ、趣味の時間が減り、出席する会・読むべきものが増えた。「ボランティアと家族、どちらが大事な？」という枠を超え、生活の一部になっている。まさに侵食された感がある。恐るべきYWCA。
しかし私は「今の私」の方が好きだ。

私の考え方を柔かくし、仕事や私生活においても「反省する。でも納得のいかないことは議論してよい」ことを学ばせてくれた。

そして先日神戸YWCAで、日本Y会長石井摩耶さんが「YWCAの愛デンティティについて考える」と題して語って下さったが、これもまた目から鱗であった。YWCAの歴史を紐解くことの大切さを実感し、自分がさまざまなボランティア団体の中で、YWCAを選び、メンバーとして活動できていることを嬉しいな、と感じた。

その時に石井さんから教えていただいた「自分たちの活動を絶対化しない。他者との違いを認め、真摯に向き合っていくこと」、奮闘する毎日である。すぐにひがむ、泣く、騒ぐ「本当に小さき者」の私にこんな風に思わせるYWCAはやっばりすごい!!

神戸YWCA 松本光代

9条ピースウォーク実施中!

「9条世界会議」のプレイベントとして、2月24日に広島を出発、5月4日の幕張ゴールを目指して全国の仲間が歩いています!



●公益法人新法への対応
来春、09年度の中央委員会では、公益法人新法に対応するため重要な決議をする必要があるため、その前段階として、会計書式を公益法人会計の新基準へ載せました。今回はその会計書式で決算報告書と予算案の説明をいたします。また、日本YWCAの「機関設計」と「定款案」について検討するセッションを設けました。（決議はしません。今までもとずいぶん違った日本YWCAの機関設計案ですが、皆さんの頭のなかを少しソフトエンジニアリングしてください。あくまで経過報告と来年度の中央委員会での決議するための準備です。）

●アジア・太平洋戦争に関する謝罪と未来に向けて
1日目の夜には、日本YWCAとしての「アジア太平洋戦争に関する謝罪と未来に向けて」と題して、皆さんと意見を交換したいと思います。その理由は次のとおりです。日本YWCAのビジョン2015のひとつに、「市民レベルで東北アジアの信頼を築く」ことがあげられ、07年度、中国YWCAとの関係では、天津・上海・南京などに訪問しました。韓国YWCAとは、歴史に関するNGO会議に日本YWCAから代表を送ったり、両国YWCA共催の日韓ユースカンファレンスが持たれると共に、地域YWCAでも独自の交流プログラムが盛んになっています。そのような時日本YWCAとして振り返ってみると、明文化した形で謝罪をせず、今があるのではないかと

●長期財政計画への対応
日本YWCAが活発に活動展開するためには、財政の問題を抜きには考えられません。理事会から日本YWCAの長期財政計画について説明があります。

●ユースネットワーク発足について
さらに2日目は、「ユースネットワーク発足」について議論します。日本YWCAには、ひろしまを考える旅・日韓ユースカンファレンス・世界YWCA総会への参加者など、若い人が各地にいるのです。その人たちを横につないで、力をつけていきたいという願いです。5年後・10年後のYWCAの活動を創り出す機会となれば幸いです。

その他、講事としては、活動計画・行事計画・会計報告・予算などがあります。地域YWCA及び中央委員会には事前に膨大な資料が届けられますが、よく目を通してください。少しでも前向きな議論ができるようになりましょう。あなたの発言が日本YWCAを作りまします。

08年度中央委員会準備委員長 俣野尚子

「三条河原町アーケード前」
「ここが、私たち京都YWCAの「9の日」ピアスアクション」の場です。毎月9日午後4時から5時まで「武力で平和は創れない」の手作りパネルを掲げて立つ、サイレン・ピアスアクションは、素敵なパナ（ちよっと自慢です！）今の3代目で、初代は立命館平和ミュージアムに展示されています。や、にこやかな女性たちが人の目を引くように。若いお母さん幹部委員が「9条」を自分の言葉で書いたチラシを作り、手渡しています。英語版チラシ（日本YWCAのハガキをコピーした物です）も用意しました。

私たちの顔を交互に見ていく人、いろいろな人たちが私たちの前を通り過ぎていきます。



YWCAの「9の日」は、すべての暴力にNO!とをなえて行動する日です。9条を意味して「9の日」とネーミングし、各地で多彩な取り組みがなされています。4回にわたってその様子を紹介します。

京都YWCA



「頑張っ！」と声をかけてくれる人！「ありがとうございませう！」と私たちの声も弾み、ちらしをわたすと「知りたてます。外国の人たちも、ピアスを送ってくれたら、チラシをわたすと」知りたてます。外国の人たちも、ピアスを送ってくれたら、チラシをわたすと「知りたてます。外国の人たちも、ピアスを送ってくれたら、チラシをわたすと」

今年の中央委員会は、29歳会期の中間の年です。中央委員会は総会と総会をつなぐ重要な決議機関です。寄附行為も、名称変更と評議員会設置に向かって動いています。もしかすると、財団法人日本YWCAとして初めて中央委員会となり、評議員会（構成：常任委員）として議するもの、各会長・総幹事を加えた中央委員会として議するものに分かれるかもしれません。また、日本YWCAの各委員会の活動の評価方法も、世界YWCAの評価表を参考にアレンジした評価表を用いました。地域YWCAでも参考にしたいだけではないと思います。

たことを生かして、さらには不特定多数の人々に開かれた公益目的事業の展開を検討したいと思っています。日本YWCAの将来像を描く機会として、皆さんの考えが反映されれば、日本YWCAの活動がさらに活発になるためのヒントが見い出せるのではないのでしょうか。

この時をきっかけに、全国でYWCAの歴史を振り返りながら、アジアと向き合うようになっていくための活動の取り組みを促したいと思います。

さらに2日目は、「ユースネットワーク発足」について議論します。日本YWCAには、ひろしまを考える旅・日韓ユースカンファレンス・世界YWCA総会への参加者など、若い人が各地にいるのです。その人たちを横につないで、力をつけていきたいという願いです。5年後・10年後のYWCAの活動を創り出す機会となれば幸いです。

08年度中央委員会のお知らせ

日時：5月24日（土）～25日（日）
会場：国立オリンピック記念青少年総合センター（代々木）